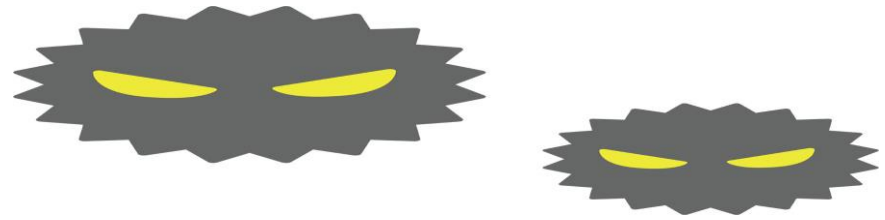







ノロウイルスの感染経路と感染予防対策







感染経路

-  ノロウイルスが大量に含まれるふん便や吐物から人の手などを介して二次感染する場合があります。
-  人同士の接触する機会が多いところで人から人へ飛沫感染等直接感染する場合があります。
-  食品取り扱い者が感染していると、そこから食品が汚染されて感染する場合があります。(近年増加傾向)
-  汚染された二枚貝を、生あるいは十分に加熱しないで食べると感染する場合があります。
-  ノロウイルスに汚染された井戸水や簡易水道でも消毒不十分だと感染する場合があります。

ノロウイルスによる感染を防止する方法






食品取り扱い者の衛生管理

-  症状のある方が食品を直接取り扱う作業に従事させないようにし、症状が改善した後も、1週間から1か月間は直接食品を取り扱う作業をさせないようにします。
-  日常から手洗いの徹底と食品に直接触れる際には使い捨ての手袋を着用します。
-  自分自身の健康状態を把握し、下痢や嘔吐、風邪のような症状がある場合には、責任者にその旨を伝えます。
-  ドアノブ等の手指が触れる場所の洗浄・消毒対策をします。



家庭内や集団で生活している施設のまん延防止

-  ノロウイルスに感染した人のふん便や吐物からの二次感染，人から人への直接感染，飛沫感染を予防します。
-  普段から，乳幼児や高齢者の下痢や吐物の扱いには十分注意します。
-  ふん便に汚染された床や手袋はもちろん，時間が経った吐物であっても，感染力のあるウイルスが残っている可能性があるため必ず処理します。